

# ひび割れ状況など現地確認

県道路メンテナンス会議

## 今年度初の研修会開く

80人参加

福井県道路メンテナンス会議の今年度1回目となる研修会は10日、福井市内の足羽川に架かる板垣橋を教材に行われ、橋脚や橋げた、床版のひび割れ状況などを近接目視し、健全性の度合いを示す診断結果（数値）を記

録用紙にまとめるなど点検作業の習熟に努めた。この実習に先立ち、午前には福井土木事務所で座学にも取り組んだ。

参加者は会議を構成する近畿地方整備局や中日本高速度路、西日本高速度路、県、17市町、県道路

公社、県建設技術公社の道路関係職員ら男女合わせた約80人。今春異動の職員も初参加で慣れない業務ながら、みな真剣な表情で臨み、ハンマーで剥離状態を確認したり、上からの水漏れ経路に腐食との因果関係を探った



橋脚や床版など健全性をチェックする参加者たち＝福井市板垣橋

り、講師を務める公社や県コンクリート診断士会スタッフの的確なアドバイスに耳を傾けながら、部材ごとに補修の必要性を見極めていた。